



# さくらんぼだよ

10月号

平成30年10月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

遊びを通して育む「学びの芽」

暑い、暑いと言っていた夏も過ぎ去り、あっという間に秋が訪れ、園庭も秋の草花で彩られています。ピンクのコスモスやキバナコスモスがゆらゆら揺れる中では、かくれんぼをしたり、虫取りアミをもってトンボを追いかけたり、草むらの中で虫探しをしたり、また、のはらまつりで使用するために自分たちで一生懸命編んだ縄跳び縄で、友達同士で長縄跳びや一人跳びを楽しんでいる子ども達です。柿の実も少しずつ色づき始め、さわやかに吹き抜ける秋風は、子ども達にまた、新たな力を注いでくれているようにも感じます。

畑には、もう既に夏野菜の姿はなくなり、冬野菜への準備が進んでいるところです。子ども達は、野菜の小さな芽が出てきていることに気付き、今度はどんなクッキングをしようかと、新たな期待に胸をわくわくさせているようです。

31年度、西多賀チェリー保育園は幼保連携型認定こども園となります。保育園としての役割を保ちながら、幼稚園としての役割も担うこととなりますが、これまでも、幼児教育を行っているという意識をもちながら保育を行ってきましたので、保育内容については何ら変わることはありません。「教育即学習」というイメージを持たれる方もいらっしゃるかと思いますが、子ども達は、遊びの中で様々なことを学んでいきます。乳幼児の時期は、生活そのものが「教育の場」になっていると思います。泥んこあそびでは、土と砂の違いに気付いたり、野菜などの収穫の時には、大小の違いや、何個取ったのか友だち同士で数えるなど、数に関心を持つようになり、また、実の色で食べていいのかまだなのか教えあったりしている子ども達です。草むらでは虫に刺されながらも、様々な生き物への興味関心を広げ、命の尊さにも気付かせてあげています。食育について色々言われている昨今、畑での野菜作りは食育そのものと誇りをもって行っています。水やりなど世話をしなければ萎れてしまうこと、収穫が遅くなれば、実が硬くなってしまふこと、そして、野鳥に食べられてしまうことなど、身近のできごとを通して、食べることに生きることに即、繋がっていることを身を持って感じている子ども達でもあります。

旬のものをおいしく楽しく食べることが生きる喜びに繋がります。子ども達の活動の源にもなり、心も豊かになることを願い食育活動にも取り組んでいます。西多賀チェリー保育園ならではのこうした活動は、子ども達にとって生きた学びとなり、成長につながっていると思います。これから様々な体験を積み重ね今後の学習につながる「学びの芽」を育てていきたいと思っています。

2018・10・1 <園長 中館 和子>

## お知らせ

### <親子遠足>(3歳以上児)

日にち 10月12日(金) 集合時間 午前 8:45  
集合場所 西多賀3丁目南公園 行先 みちのく湖畔公園

\* 尚、詳細につきましては後日お知らせいたします。



### <内科健診>

10月25日(木) 午後15:00~園医(松本先生)による健診があります。当日欠席された場合は、後日、保護者の方と直接松本小児科に行ってくださいとなりますので、なるべくお休みをしないようにお願いします。



### 世代間交流<芋煮会&球根植え>

日時 10月26日(金) 9:30~12:30

おじいちゃん、おばあちゃん達と一緒に豚汁を作って食べます。また、来年春に咲く花の球根を子ども達と一緒に植えたいと思います。詳細は、後日お知らせ致します。

## おねがい

\* 季節の変わり目は体調を崩すことが多くあります。お休みの日はなるべくゆっくり過ごさようお願いします。

## 行事予定

10月		行事
日	曜日	
2	火	発育測定
12	金	親子遠足(3歳以上) 幼保連携型認定こども園移行説明会
16	火	誕生会
17	水	避難訓練
19	金	のはらまつり実行委員反省会
25	木	内科健診
26	金	芋煮会・球根植え

11月		行事
日	曜日	
13	火	総合避難訓練
14	水	歯科健診
17	土	おはなしの広場まつり
20	火	誕生会
22	木	防犯訓練
27	火	焼いも会
30	金	おはなしの広場まつり反省会

# みんなで育ち合う“こころのねっこ”



2018・10・1

実りの“秋”となってきました。園庭の栗の木は一時根元が腐ってきて、倒木の恐れがあるということで、根っこを残して伐採したことがありましたが、“根”はしっかりしていて、その後、また、スクスク生長を続け、何と今年は数こそ少なかったもののとても大きな実をつけてくれました。すごいな～と思っているとき、ちょうどテレビから流れてきたのが73年前、広島で被爆した銀杏の木の話でした。お寺の境内にあった銀杏の木も幹を遺して焼失してしまったものの、翌年、わずかに残っていた枝から芽が出て、周囲の人々を勇気づけたという事でした。今でも大きく育つ銀杏の老木の幹には焼け跡が残っているという事ですが、自然物のこうしたたくましい生命力を見ると、当時の人達に限らず、現代でも勇気づけられるのではないのでしょうか。

栗の木にしても銀杏の木にしても、“根っこ”がしっかり大地に根付いていれば新たな復活があることをおしえてくれているように思います。子ども達の成長過程においても、嬉しい事もあれば、心配になるような事も色々起きてきますが、親と子が繋がりに心の根っこがしっかり育つことでたくましく立ちあがれることを示唆してくれているように思いました。

次年度、認定こども園に移行の予定であることは、すでに皆様にお伝えしていますが、移行になったにしても、生涯にわたる人格形成の大事な時期をお預かりしていることを考えると、今まで以上に“心の根っこ”をしっかり育てていかなければと思います。保育方針については、今までと何ら変わることはありませんが、より良い教育・保育ができるようこれからも保護者の皆様と“共に”語り合いながら、子どもたちの成長を見守っていきたく思います。



## 母と子の 絵本棚



### 「いちじくにんじん」

出版社：福音館 こんもり なつこ：絵  
子どもたちにはまだ、見たこともないような食べ物もでてくるかぞえうた♪いちじく にんじん さんしょうに しいたけ・・・♪歌がわからなくても、こういう食べ物もあることを伝えながらお子さんと一緒に歌を唱えて楽しんでください。



「めっきらもっきらどおんどん」 出版社：福音館  
はせがわ せつこ 作 ふりや なな 絵  
一緒に遊ぶ友達が見つけれないかんだ。お宮で出あった三人組のへんなおぼけ。“しっかかもかか”“おたからまんちん”“ももんびゃっこ”と妖怪？の名前もどこか子どもの心をくすぐるような名前、そしてかんだの歌う♪めっきらもっきらど～んどん・・・♪一つ一つの言葉に躍動感があり、子ども達がドキドキワクワクしながら楽しんでいる絵本です。

## 「子どもだって・・・色々あるよ～」

毎日元気に、時には泣いたりぐずったりしながら登園してくる子ども達で、保育園の玄関ホールは朝から賑わっています。こんな様子を垣間見た学生から、“保育園って、保護者の方にとってはとても必要なところだと思いますが、子ども達にとっては、どうなのでしょう？”と投げかけられました。日々、家庭の中で、子育てが難しくなっているからこそ、園が保護者に代わって、子ども達の健やかな育ちを願いながら、保育を行っていることを伝えたものの、子どもの側に立った時、はたして子ども達の気持ちはどうなんだろうと思ってしまいました。

大好きなおとうさん、おかあさんから離れて長い一日を過ごす子ども達・・・。子どもだって保育園を休みたいと思うことがあるのかも、そう思うと、もっと子どもの気持ちもくんで、今何を思っているのか、親の思いとすれ違っていないか、しっかり聞いていくことが大事な、と思いました。



## わらべうたであそぼう

### ♪どんぐりころちゃん♪



どんぐり ころちゃん なたまは とんがって どんぐりはちくりしょ  
おしりは べっちゃんこ

どんぐりころちゃん（拍手4回）  
あたまは とんがって  
（両手で頭を軽くたたく）  
おしりは べっちゃんこ  
（おしりを軽くたたく）  
どんぐり はちくりしょ  
（拍手3回、またはじゃんけん）

